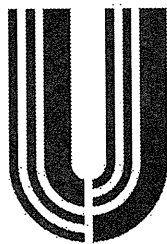


平成22年度総会

日時:平成22年5月30日(日)

会場:国立京都国際会館 1F メインホール



社団法人

日本超音波医学会

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6F

U R L: <http://www.jsum.or.jp>

T E L: 03-6380-3711

F A X: 03-5297-3744

E-Mail: office@jsum.or.jp

平成22年度総会次第

日時：平成22年5月30日(日) 12時10分～13時10分

会場：国立京都国際会館 1F メインホール

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1. 平成21年度事業報告	(資料1)	総務担当理事
2. 平成21年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3. 平成21年度収支決算監査報告	(資料3)	監 事
4. 平成22年度事業計画(案)	(資料4)	総務担当理事
5. 平成22年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6. 平成22・23年度役員及び代議員の選任	(資料6)	理事長
7. 会員の除名	(資料7)	理事長
8. 名誉・功労会員推薦	(資料8)	理事長
9. その他		
次期理事長挨拶		次期理事長
議事録署名人の選出		議 長
閉会		議 長
名誉会員の表彰		理事長
功労会員の表彰		理事長
第12回特別学会賞の表彰		理事長
第9回松尾賞の表彰		理事長
論文賞(第24回菊池賞・第5回伊東賞)の表彰		理事長
第10回技術賞の表彰		理事長

(資料1)

平成21年度事業報告

(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

平成21年度における本会の事業報告は次のとおりである。

I. 会員現況

(平成22年3月31日現在)

会員種別	平成21年3月31日 現在数	平成22年3月31日 現在数	増 減	備 考
名誉会員	25	23	- 2	
功労会員	41	50	+ 9	
正 会 員	7,895	7,821	- 74	
準 会 員	5,650	5,776	+ 126	
学生会員	1	3	+ 2	
賛助会員	18(63口)	15(55口)	- 3	
計	13,630	13,688	+ 58	

名誉会員(*物故者)

*青柳健次 *永山徳郎 *板原克哉 *井出正男	*加藤和賀 *金邊中 *岡田伊	*藤子益基 *金仁基 *正尚良	*菊実松 *池吉有 *喜純北 *充三菅	*田林 *中憲山 *憲周太 *二太郎	*吉田常 *古賀島 *中賀島	*雄孝茂 *吉海安 *岡老藤 *勝名敏 *哉弘
福井伊	田内東	守久紘	道彌一	賀井敏夫 和渡田伊	井元正 敏直安	靖裕一 原藤健

(以上43名)

Ⅱ. 学会誌

- 和文誌「超音波医学」第36巻Supplement号(学術集会抄録号)、第36巻3号から6号と第37巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol. 36 No. 2からNo. 4とVol. 37 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。
- 過去の学会誌(「Vol. 11 No. 1(1984)からVol. 13 No. 6(1986)」)のPDF化を行った。

		和 文 誌							英 文 誌			
巻 号		36- Suppl	36- 3	36- 4	36- 5	36- 6	37- 1	37- 2	36- 2	36- 3	36- 4	37- 1
本文ページ数		538	169	126	65	100	94	145	52	56	70	38
主	原著 (Original Article)	—	0 (0)	14 (1)	14 (2)	0 (0)	22 (3)	0 (0)	46 (6)	26 (3)	30 (4)	18 (3)
	症例報告 (Case Report)	—	6 (1)	0 (0)	6 (1)	0 (0)	12 (2)	8 (1)	0 (0)	12 (3)	8 (2)	10 (2)
	翻訳原著 (Translation of Original Article)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—
	翻訳症例報告 (Translation of Case Report)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—
な	総説 (Review Article)	—	0 (0)	32 (3)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	44 (5)	0 (0)	14 (1)	16 (1)	0 (0)
	特集 (State of the Art)	—	66 (6)	0 (0)	0 (0)	32 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
論	技術報告 (Technical Note)	—	0 (0)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報 (Rapid Communication)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	教育 (Educational Note)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
文	Letters to the Editor	—	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0
	今月の超音波像 (Ultrasound image of the Month)	—	8 (2)	4 (1)	6 (2)	12 (3)	2 (1)	8 (2)	2 (1)	0 (0)	4 (1)	6 (2)
	Editorial	—	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2
	学術集会プログラム	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	学術集会抄録	405	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ジ 数	会告	—	7	9	12	7	15	7	—	—	—	—
	研究会抄録	—	10	0	0	2	0	0	—	—	—	—
	地方会抄録	—	28	13	6	21	20	47	—	—	—	—
	学会ニュース	—	3	4	3	3	3	3	—	—	—	—
	その他	46	39	44	16	11	16	27	2	0	10	2

()内は掲載論文等の数

III. 特別学会賞

第11回特別学会賞は、次の1名に授与された。
横井 浩(元 日生病院超音波検査部)

IV. 松尾賞

第8回松尾賞は、該当者なし。

V. 技術賞

第9回技術賞は、次の1件に授与された。
微細石灰化集出のための画像処理技術 (Micro Pure)
岡村陽子, 神山直久, 掛江明弘
(東芝メディカルシステムズ株式会社超音波開発部)

VI. 論文賞

第23回菊池賞・第4回伊東賞は、次の3編に授与された。

菊池賞

Contributions of mechanical and sonochemical effects to cell membrane damage induced by single-shot pulsed ultrasound with adjacent microbubblesE35-4
Kengo OKADA¹, Nobuki KUDO¹, Takashi KONDO², Katsuyuki YAMAMOTO¹
(¹Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University, Hokkaido, Japan, ²Department of Radiological Sciences, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama, Toyama, Japan)

伊東賞

Preliminary study of contrast-enhanced harmonic endosonography with second-generation contrast agentsE35-1
Masayuki KITANO¹, Masatoshi KUDO¹, Hiroki SAKAMOTO¹, Tatsuya NAKATANI¹, Kiyoshi MAEKAWA², Nobuyuki MIZUGUCHI³, Yasuhiro ITO⁴, Motohiro MIKI⁴, Uwe MATSUI⁵, Tammo von SCHRENCK⁵
(¹Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, ²Section of Abdominal Ultrasound, ³Life Science Research Institute, Kinki University School of Medicine, Osaka, Japan, ⁴Research and Development Department, Aloka Co. Ltd, Tokyo, Japan, ⁵Department of Medicine, Bethesda General Hospital Bergedorf, Hamburg, Germany)

Sequential changes in rat femoral artery blood flow and tissue degeneration after exposure to high-intensity focused ultrasoundE35-4
Tetsuya ISHIKAWA¹, Takashi OKAI¹, Kazuaki SASAKI², Shin-ichiro UMEMURA³, Nozomi MIYAZAKI¹, Miki KUSHIMA⁴, Hiroko AOKI¹, Mitsuyoshi ICHIHARA¹, Kiyotake ICHIZUKA¹
(¹Department of Obstetrics and Gynecology, ²Department of Hospital Pathology, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan, ³Department of Veterinary Medicine, Tokyo University of Agriculture and Technology, Tokyo, Japan, ⁴Department of Electrical and Communication Engineering, Tohoku University, Miyagi, Japan)

VII. 奨励賞

第10回奨励賞は、次の8編に授与された。

基礎領域

血流依存性の血管弛緩反応による橈骨動脈壁粘弾性特性変化の超音波計測
池下 和 樹(東北大学大学院)

体表領域

B-modeにて濃縮のう胞を疑う病変の検討
伊藤 吾子(日立製作所日立総合病院)

循環器領域

ソナソイドを用いた経頭蓋超音波検査による脳血流定量を含めた脳血管評価法の確立
斎藤こずえ(奈良県立医科大学)

スペックルトラッキング法を用いた心筋壁内ストレイン勾配解析の精度評価と臨床応用
石津 智子(筑波大学大学院)

2Dスペックルトラッキング法を用いた心サルコイドーシス症における局所心機能の検討
中國 朱 実(産業医科大学病院)

消化器領域

造影USパラメトリックイメージング法による良性肝腫瘤性病変の質的診断の試み
和久井紀貴(東邦大学医療センター大森病院)

産婦人科領域

子宮頸部elastographyに関する基礎的研究
小松 篤 史(東京大学)

腎・泌尿器領域

精巣腫瘍における超音波分類の検討
河本 敦 夫(東京医科大学病院)

VIII. 学術集会

第82回学術集会(会長 椎 名 毅)は、平成21年5月22日(金)、23日(土)、24日(日)の3日間、東京国際フォーラム(東京都)を会場として開催した。参加人員3,716名、発表内容は下記のとおり。

第82回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 15題(基礎 1、循環器 6、消化器 5、泌尿器 1、産婦人科 1、体表 1) 一般演題 300題(基礎 57、循環器 67、消化器103、泌尿器 11、産婦人科 30、体表 16、頭頸部・眼科 5、整形外科 11) ポスター 91題(基礎 8、循環器 28、消化器 32、産婦人科 13、体表 10) 合計 406題
招請講演	1) Photoacoustic Tomography: High-Resolution Imaging of Optical Contrast in vivo at New Depths 2) Elasticity Imaging with Acoustic Radiation Force: Methods and Clinical Applications
会長講演	音で触れる -Elasticity Imagingの開発の道のりと展望-
教育講演	1) 超音波の今昔から未来へ 2) 造影超音波の現在と未来
市民公開講座	US for You -乳がんの超音波診断-
シンポジウム	1) 異分野との融合による超音波イメージングの新展開 2) 超音波検査と教育 -超音波専門医と超音波検査士の育成について考える- 3) 基礎と臨床から超音波診断の問題点を見直す -精度・アートファクト・限界- 4) 動脈硬化に迫る 5) 超音波併用乳房検診の有用性、現状と課題 6) 乳房超音波検査における腫瘍像非形成性疾患 7) 経直腸的超音波断層法の将来を考える -診断からインターベンション・治療への応用- 8) 経頭蓋超音波検査の最前線 9) 超音波診断と治療技術の融合 10) 一目見ておけば診断できる稀な心血管疾患 11) 肝腫瘍診断における造影超音波の位置づけ 12) 超音波でしか診断できなかった消化器疾患症例 13) 組織弾性イメージング技術の新展開 14) 各領域におけるStrain Imagingの臨床応用とその開発 15) 消化器領域における超音波診断基準の検証 16) 産婦人科医が行う他領域超音波
パネルディスカッション	1) 超音波による治療と安全性 2) 3Dエコーを使いこなす 3) 自覚症状に対応した領域を超えた超音波検査 : 腹痛の超音波検査による鑑別診断 4) びまん性肝疾患の超音波による評価 5) 各領域の造影超音波の新展開 6) 眼部超音波ドプラーによる微小循環の評価 7) 急を要する甲状腺疾患 -この画像を見たら急いで!!- 8) 血流計測法の新展開 9) 臨床医が求める検査報告書の書き方 10) 超音波で加齢を計る 11) 新しい心機能指標の可能性を探る 12) どこまで来た肝腫瘍の超音波診断 13) 妊婦健診における超音波検査の再検討
ワークショップ	1) 超高周波超音波診断(超音波生体顕微鏡)の眼科領域における応用 2) 産婦人科における3Dデータの応用
ライブセッション	1) 超音波診断装置の人間工学的デザインについて -超音波ペンダーの各装置の比較検討- 2) 小児科医が教える先天性心疾患 3) 3Dエコーの撮り方のコツ 4) 腎動脈エコーの撮り方と判定 5) 私の超音波教育法(心臓) 6) 超音波テレメディスン 7) 私の超音波教育法(血管) 8) 腹部領域におけるドプラーのコツ 9) 造影超音波検査の治療への応用 10) 造影超音波検査のコツ 11) ポータブルエコーの腹部・体表領域への応用 12) 甲状腺結節のインターベンション
超音波医学フォーラム	超音波診療と医療安全
教育セッション	1) 基礎 3題 2) 初級 9題 3) 中上級 10題
その他	新技術開発セッション 平成19・20年度研究開発班研究成果発表会 共催セミナー フロンティアテクノロジー
機器展示	24社

IX. 地方会学術集会

下記の地方会学術集会が開催された。

a. 北海道地方会学術集会

第37回 会長 長谷部 直幸

平成21年11月7日 於：旭川医科大学(旭川市) 参加者：146名 演題数：27題

第38回 会長 三神 大世

平成22年2月27日 於：北海道大学学術交流会館(札幌市) 参加者：237名 演題数：26題

b. 東北地方会学術集会

第38回 会長 大平 弘正

平成21年9月6日 於：コラッセ福島(福島市) 参加者：159名 演題数：33題

第39回 会長 明城 光三

平成22年3月14日 於：仙台市情報・産業プラザ(仙台市) 参加者：271名 演題数：163題

c. 関東甲信越地方会学術集会

第21回 会長 森 秀明

平成21年11月7日～8日 於：東京ファッションタウン(TFTホール)(東京都) 参加者：1,717名 演題数：134題

d. 中部地方会学術集会

第28回 会長 島本佳寿広

平成21年6月14日 於：名古屋大学医学部保健学科(名古屋市) 参加者：337名 演題数：30題

第29回 会長 金子 周一

平成22年1月31日 於：石川県立音楽堂(金沢市) 参加者：227名 演題数：44題

e. 関西地方会学術集会

第36回 会長 石蔵 文信

平成21年10月3日 於：大阪国際会議場(大阪市) 参加者：929名 演題数：112題

f. 中国地方会学術集会

第45回 会長 茶山 一彰

平成21年9月12日 於：広島県情報プラザ(広島市) 参加者：266名 演題数：72題

g. 四国地方会学術集会

第19回 会長 久保田 敬

平成21年12月19日 於：高知市文化プラザかるぼーと(高知市) 参加者：159名 演題数：36題

h. 九州地方会学術集会

第19回 会長 山下 裕一

平成21年10月4日 於：福岡国際会議場(福岡市) 参加者：713名 演題数：65題

X. 規約等の制定・改正等

1. 制定

(1) 社団法人日本超音波医学会地方会委員会規程(平成21年10月2日制定)

2. 改正

(1) 社団法人日本超音波医学会会員の種別、入退会、会費等の取扱い規則(平成21年8月21日改正)

(2) 社団法人日本超音波医学会職員給与規則(平成21年10月2日改正)

(3) 社団法人日本超音波医学会学術集会実行委員会規程(平成21年10月2日改正)

(4) 社団法人日本超音波医学会認定超音波指導医の委嘱に関する内規(平成21年11月30日改正)

(5) 社団法人日本超音波医学会認定超音波検査士資格更新実施内規(平成21年10月2日改正)

(6) 社団法人日本超音波医学会地方会規程(平成21年10月2日改正)

(7) 社団法人日本超音波医学会学術集会会長選考内規(平成21年10月2日改正)

(8) 社団法人日本超音波医学会学術集会委員会規程(平成21年10月2日改正)

(9) 社団法人日本超音波医学会地方会委員会規程(平成22年1月8日改正)

XI. 各種委員会等報告

1. 企画委員会(委員長 田中 幸子)

a. 「超音波診療と医療安全」をテーマとして、第2回超音波医学フォーラムを行なった。第82回学術集会に併催し、厚生労働省医政局の佐原氏の他、会員からは慈恵医大の中田氏、昭和大学の市塚氏に講演していただいた。

b. 「第3回超音波医学フォーラム」を第83回学術集会に併催の予定で、開催に向けての企画、準備を行った。

c. 関連他学会との共同事業としてラジオ波技術認定検討会議(仮称)に積極的に係わることに關しての討議を行なった。

d. その他、超音波医学について将来的視野で検討し、各委員会に提言を行った。

2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 秋山いわき)

a. 「音響放射圧を用いたイメージング装置の生体への影響について」について調査、検討を行い、その結果を学会誌ならびにホームページに掲載した。

b. 「超音波診断装置の精度管理手法検討小委員会」において検討を行った。

c. 第82回学術集会に於いて横断的シンポジウム「超音波による治療と安全性」を開催した。

d. 超音波診断機器の安全規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員2名を派遣した。

e. 「超音波の安全に関する資料」をホームページに掲載した。

f. 「超音波機器に関するレギュラトリサイエンス小委員会」を設置し、超音波の生体への影響について検討を開始した。

g. 超音波造影剤の安全性について、第3回動物実験で得られた電顕試料の読影評価結果を本会論文誌投稿するために準備を行った。

3. 編集委員会(委員長 谷口 信行)

a. 和文誌「超音波医学」第36巻Supplement号(学術集会抄録号)、第36巻3号から6号と第37巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol. 36 No. 2からNo. 4とVol. 37 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。

b. 英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」について、オンラインファーストを導入した。

c. 過去の学会誌(Vol. 11 No. 1(1984)からVol. 13 No. 6(1986))のPDF化を行った。

4. 用語・診断基準委員会(委員長 貴田岡正史)

a. 医用超音波用語関係

1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ホームページに反映した。

b. 診断基準関係

1) 「超音波による頸動脈病変の標準的評価法」、並びに「Standard Method for Ultrasound Evaluation of Carotid Artery Lesions」を完成し、学会誌に公示した。(超音波医学第36巻4号)

2) 「肝腫瘍の超音波診断基準」の改訂(案)を作成し学会誌に公示した。(超音波医学第37巻2号)

3) 泌尿器領域に關して「腎限局性病変の超音波診断基準(案)」、「尿路結石の超音波診断基準(案)」、「膀胱疾患の超音波診断基準(案)」、「前立腺疾患の超音波診断基準(案)」、「陰嚢内疾患の超音波診断基準(案)」、「超音波による泌尿器領域の容積計測法(案)」、並びに「Criteria for ultrasonic diagnosis of localized renal disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of urinary tract stone (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of bladder

- disease (draft)」、Criteria for ultrasonic diagnosis of prostate disease (draft)」、Criteria for ultrasonic diagnosis of intrascrotal disease (draft)」、Volume measurement in the field of urology (draft)」公示に向けて検討を行った。
- 4) 「CRT適応選択のための心エコー諸指標の解説」(案) 公示に向けて検討を行った。
 - 5) 「痔瘻診断基準」改訂(案)の公示に向けて検討を行った。
 - 6) 「消化管診断基準」(案)の公示に向けて検討を行った。
 - 7) 「双胎妊娠胎児の標準値」(案)の公示に向けて検討を行った。
 - 8) 「胎児静脈系血流の標準値」(案)の公示に向けて検討を行った。
 - 9) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍非形成性病変」(案)の公示に向けて検討を行った。
 - 10) 「結節性甲状腺疾患診断基準」(案)を公示するための作業を進めた。
 - 11) 「眼科領域の超音波画像表示と計測のための検査指針」の改訂(案)の公示に向けて検討を行った。
 - 12) 「肩関節板断裂診断基準」(案)の公示に向けて検討を行った。
5. 保険委員会(委員長 竹内和男)
- a. 平成22年度診療報酬改訂に向けて、関連学会と情報交換を行い、医療技術評価提案を3件(エラストグラフィー・胎児心エコー・心筋コントラストエコー法)を内保連に提出した。また、技術評価提案に関する厚生労働省からのヒアリングに対応した。
 - b. 診療報酬表における超音波検査に関する項目整理、記載の改訂、及び第4部への移動についての要望書を厚生労働省保険局医療課に提出し、陳情した。
 - c. 各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の現状についてアンケート調査を行った。
 - d. レボピスト販売停止への対応に関するワーキンググループに参画した。
6. 国際交流委員会(委員長 工藤正俊)
- a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
 - 1) 「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。
 - 2) 2009年度JSUM Fellowship研修生3名の研修を実施した。
 - 3) 2010年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考を行った。
 - 4) 今後の活動について検討を行った。
 - b. 世界超音波医学術連合(WFUMB)・アジア超音波医学術連合(AFSUMB)関係
 - 1) 2009年にシドニー(平成21年8月30日～9月3日)にて開催された第12回WFUMBに学術、広報などの面で協力した。
 - 2) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌、及び本学会ホームページにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行った。
7. 教育委員会(委員長 森安史典)
- a. 第82回学術集会会期中の平成21年5月22日(金)から24日(日)に東京国際フォーラム(東京都)を会場として、第8回教育セッションを開催し、1,104名の参加があった。
 - b. 第83回学術集会会期中に京都にて開催予定の「第9回教育セッション」の企画を検討し、開催に向けての準備を行った。
 - c. 平成21年6月14日(日)に北海道大学学術交流会館(北海道)を会場として、「超音波講習会-血管エコー-」を開催し、130名の参加があった。
 - d. 平成21年8月8日(土)に大阪国際会議場(大阪府)を会場として、「超音波講習会-消化器-」を開催し、236名の参加があった。
 - e. 平成21年12月20日(日)に東京慈恵会医科大学(東京都)を会場として、「超音波講習会-乳腺(初級)-」を開催し、236名の参加があった。
 - f. 平成22年度に開催予定の「超音波診断講習会」の企画を検討し、開催に向けての準備を行った。
 - g. 画像媒体を用いた新たな超音波研修システムの構築について検討を行った。
8. 超音波専門医制度委員会(委員長 千田彰一)
- a. 平成21年度に認定した研修施設(新規17施設、更新21施設)に対し、平成21年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示した。(超音波医学第36巻5号)
 - b. 第19回超音波専門医認定試験を実施し、合格者62名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成21年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第36巻5号)
 - c. 第15回超音波専門医資格更新を実施し、更新者157名、猶予・保留者6名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成21年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第36巻5号)
 - d. 平成21年度超音波指導医の委嘱審査を行い、新規32名、及び更新106名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成21年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第37巻1号)
 - e. 第20回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第37巻1号)
 - f. 平成21年12月1日現在での超音波指導医・所属施設別一覧を公示した。(超音波医学第37巻1号)
 - g. 第16回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第37巻2号)
 - h. 平成22年度研修施設の指定に向けての審査を行い、新規21施設、更新25施設を指定して、平成22年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する予定である。(超音波医学第37巻3号)
 - i. 資格更新システムのIT化を実施した。
 - j. 企画委員会との連携して、本制度の改革、及び整備に関する審議を行った。
 - k. 社団法人日本専門医制評価・認定機構総会に出席した。
9. 顕彰委員会(委員長 松崎益徳)
- a. 第11回特別学会賞の選考を行い、1名を授賞した。
 - b. 第8回松尾賞の選考を行ったが、該当者がいなかった。
 - c. 第9回技術賞の選考を行い、1件を授賞した。
 - d. 第23回菊池賞(論文賞)の選考を行い、1編を授賞した。
 - e. 第4回伊東賞(論文賞)の選考を行い、2編を授賞した。
 - f. 第10回奨励賞の選考を行い、8編を授賞した。
10. 超音波検査士制度委員会(委員長 増山理)
- a. 第25回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,650名に対して検査士の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成22年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第37巻3号)
 - b. 2010年超音波検査士資格更新を実施し、更新者1,291名、猶予・保留者37名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示する予定である。併せて更新者へは平成22年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第37巻3号)
 - c. 資格更新システムのIT化を実施した。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 蜂屋弘之)
- a. 第11回超音波工学フェロー認定審査を行い、9名に対して工学フェローを認定し、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第36巻6号)
 - また、併せて希望者には平成21年10月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - b. 第6回超音波工学フェロー資格更新審査を行い、更新者57名、猶予2名の認定、及び登録を行い、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第36巻4号)

- また、併せて希望者には平成21年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
c. 第12回超音波工学フェローの公募に関する会告を学会誌及びホームページにて公示した。(超音波医学第37巻2号)
d. 資格更新システムのIT化を実施した。

12. 研究開発促進委員会(委員長 山下 裕一)
a. 平成21年度研究開発班設置申請8件の審査を行い、7件(継続3件・新規4件)の開発班の設置を認可した。
b. 平成21年度研究会設置申請2件の審査を行い、以下2件(継続1件・新規1件)の研究会の設置を認可した。
1) 超音波分子診断治療研究会
2) 超音波医学の基礎技術に関する研究会
c. 平成22年度研究開発班設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第36巻5号)
d. 平成22年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第36巻5号)
e. 第82回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施した。
f. 第82回学術集會会期中に「研究成果発表会」を実施した。
13. 倫理委員会(委員長 跡見 裕)
超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について検討を行った。
14. 学術集會委員会(委員長 遠藤 信行)
a. 学術集會の主にプログラムについて、学術集會長へ要望した。
b. 将来視野で学術集會の在り方を検討した。
15. 広報委員会(委員長 金井 浩)
本会ホームページの各項目、各頁について、追加及び修正等のリニューアルを行った。
16. 地方会委員会(委員長 山下 裕一)
a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
3) 地方会学術集會に関して助言を行った。
4) 地方会講習会に関して助言を行った。
b. 地方会委員会、及び地方会運営委員長會議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
c. 地方会を通じて正会員増加の推進を行った。
d. 各地方会学術集會演題受付のWebシステムをを利用し、抄録のWeb掲載を行った。
17. 新公益法人への移行検討委員会(委員長 岡井 崇)
公益法人制度改革は、多くの医学会の懸案事項で各学会とも慎重に検討を進めている。本会も他学会の動向を見つつ、積極的な事業の遂行は控えた。
18. 会員資格審査関係(担当理事(主) 竹中 克)
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
1) 入会希望者及び退会希望者の審査
2) 除名該当者の審査
3) 会員種別変更希望者の審査
4) 休会希望者の審査
5) 休会に関する申合せの改正を行った。
19. 規約関係(担当理事(主) 竹中 克)
本会規約等の制定、改正、及び廃止を行った。(Ⅶ項参照)
- XII. 日本医学会関係(担当理事 田中 幸子)
1. 第77回日本医学会定例評議員会に出席した。
2. 次期日本医学会長、副会長、及び幹事候補者の推薦を行った。

(資料 2)

収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	360,000	359,999	1	
会費収入	148,662,500	148,674,250	△ 11,750	
正会員会費	(103,285,000)	(102,168,250)	(1,116,750)	
準会員会費	(42,694,000)	(43,892,000)	(△ 1,198,000)	
学生会員会費	(3,500)	(14,000)	(△ 10,500)	
賛助会員会費	(2,680,000)	(2,600,000)	(80,000)	
入会金収入	1,123,000	1,179,500	△ 56,500	
広告収入	2,320,000	2,040,000	280,000	
学術集会収入	75,000,000	89,639,857	△ 14,639,857	
参加費収入	(29,070,000)	(42,517,000)	(△ 13,447,000)	
学術機器展示収入ほか	(45,930,000)	(47,122,857)	(△ 1,192,857)	
地方会関係収入	47,210,000	37,323,626	9,886,374	
学会誌別刷収入	330,000	218,000	112,000	
WFUMB会誌収入	1,800,000	1,120,000	680,000	
専門医制度関係収入	5,104,000	5,179,000	△ 75,000	
認定試験	(2,280,000)	(2,580,000)	(△ 300,000)	
更新認定料	(1,609,000)	(1,612,000)	(△ 3,000)	
資料頒布料	(1,215,000)	(987,000)	(228,000)	
工学フェロー制度関係収入	371,000	208,000	163,000	
認定審査	(25,000)	(34,500)	(△ 9,500)	
更新認定料	(346,000)	(173,500)	(172,500)	
検査士制度関係収入	53,030,000	55,266,000	△ 2,236,000	
認定試験	(46,000,000)	(48,270,000)	(△ 2,270,000)	
更新認定料	(6,830,000)	(6,702,000)	(128,000)	
資料頒布料	(200,000)	(294,000)	(△ 94,000)	
教育関係収入	11,210,000	9,662,000	1,548,000	
教育セッション	(2,000,000)	(2,208,000)	(△ 208,000)	
講習会収入	(9,200,000)	(7,440,000)	(1,760,000)	
資料頒布料	(10,000)	(14,000)	(△ 4,000)	
雑収入	2,000,000	3,153,388	△ 1,153,388	
受取利息	700,000	825,426	△ 125,426	
事業活動収入計 (A)	349,220,500	354,849,046	△ 5,628,546	
2. 事業活動支出				
事業費				
学会誌経費	53,830,000	52,077,294	1,752,706	
出版費	(37,500,000)	(37,243,618)	(256,382)	
発送経費	(10,900,000)	(11,368,702)	(△ 468,702)	
編集委員会費	(3,330,000)	(2,247,220)	(1,082,780)	
英文校正費	(1,800,000)	(992,514)	(807,486)	
査読通信費	(300,000)	(225,240)	(74,760)	
国際交流関係費	6,464,500	6,542,749	△ 78,249	
奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)	
委員会費	(600,000)	(606,220)	(△ 6,220)	
AFSUMB分担金	(2,264,500)	(2,336,529)	(△ 72,029)	
WFUMB機関誌代	1,950,000	1,571,226	378,774	
学術集会関係費	75,000,000	86,943,989	△ 11,943,989	
学術集会経費	(75,000,000)	(86,943,989)	(△ 11,943,989)	
学術集会会議費	(0)	(0)	(0)	
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	
地方会関係費	65,859,000	52,699,792	13,159,208	
地方会学術集会経費	(47,210,000)	(34,231,940)	(12,978,060)	
地方会交付金	(17,449,000)	(17,543,691)	(△ 94,691)	
運営委員長会議費	(1,200,000)	(924,161)	(275,839)	

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
各種委員会費	9,230,000	4,669,621	4,560,379	
用語・診断基準委員会費	(3,600,000)	(1,367,471)	(2,232,529)	
企画委員会費	(1,100,000)	(554,747)	(545,253)	
保険委員会	(450,000)	(397,540)	(52,460)	
機器および安全に関する委員会	(2,000,000)	(1,124,535)	(875,465)	
倫理委員会	(40,000)	(35,171)	(4,829)	
規約関係	(40,000)	(0)	(40,000)	
広報委員会	(600,000)	(834,087)	(△ 234,087)	
学術集会委員会	(1,400,000)	(34,170)	(1,365,830)	
検査業務安全管理ワーキンググループ	(0)	(0)	(0)	
レボ・社販売停止への対応に関するWG	(0)	(321,900)	(△ 321,900)	
専門医制度委員会費	6,150,000	4,532,811	1,617,189	
専門医認定関係費	(4,050,000)	(2,783,771)	(1,266,229)	
専門医制度委員会費	(2,100,000)	(1,749,040)	(350,960)	
頒布資料印刷費	(0)	(0)	(0)	
工学フェロー制度委員会費	522,000	279,716	242,284	
工学フェロー認定費	(2,000)	(22,690)	(△ 20,690)	
工学フェロー制度委員会費	(520,000)	(257,026)	(262,974)	
検査士制度委員会費	17,056,000	14,312,013	2,743,987	
検査士認定関係費	(16,100,000)	(12,884,860)	(3,215,140)	
検査士制度委員会費	(831,000)	(1,289,603)	(△ 458,603)	
頒布資料印刷費	(125,000)	(137,550)	(△ 12,550)	
教育委員会費	10,180,000	15,183,605	△ 5,003,605	
教育セッション費	(2,850,000)	(8,918,630)	(△ 6,068,630)	
講習会経費	(6,650,000)	(5,704,015)	(945,985)	
教育委員会費	(680,000)	(560,960)	(119,040)	
生涯教育費	(0)	(0)	(0)	
顕彰委員会関係費	6,770,000	4,076,888	2,693,112	
賞金関係	(6,500,000)	(3,600,000)	(2,900,000)	
顕彰委員会費	(270,000)	(476,888)	(△ 206,888)	
研究開発促進委員会費	14,100,000	11,009,951	3,090,049	
研究開発班設置費	(12,000,000)	(9,433,458)	(2,566,542)	
研究会設置費	(1,600,000)	(867,205)	(732,795)	
研究開発促進委員会費	(500,000)	(709,288)	(△ 209,288)	
事業費計	269,111,500	255,899,655	13,211,845	
管理費				
人件費	43,552,000	41,853,027	1,698,973	
会計顧問料	840,000	840,000	0	
福利厚生費	700,000	688,071	11,929	
法定福利費	4,800,000	5,839,557	△ 1,039,557	
職員交通費	1,600,000	2,008,390	△ 408,390	
事務所賃借料	24,789,000	22,163,886	2,625,114	
事務用機器賃借料	710,000	924,840	△ 214,840	
備品費	400,000	0	400,000	
文具消耗品費	740,000	296,695	443,305	
光熱水料	1,300,000	1,158,944	141,056	
事務OA化費	300,000	357,975	△ 57,975	
会議費	3,581,000	3,852,858	△ 271,858	
印刷費	1,000,000	1,308,305	△ 308,305	
通信費	3,400,000	3,494,640	△ 94,640	
公租公課	1,500,000	3,368,600	△ 1,868,600	
雑費	797,000	850,715	△ 53,715	
払込手数料	1,700,000	1,749,236	△ 49,236	
選挙関係費	2,000,000	1,944,960	55,040	
退職金	0	0	0	
管理費計	93,709,000	92,700,699	1,008,301	
事業活動支出計 (B)	362,820,500	348,600,354	14,220,146	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 13,600,000	6,248,692	△ 19,848,692	

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	15,000,000	6,000,000	9,000,000	
学術奨励基金取崩収入	(8,000,000)	(0)	(8,000,000)	
松尾賞基金取崩収入	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	
研究開発班設置基金取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
伊東賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
投資活動収入計 (D)	15,000,000	6,000,000	9,000,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	900,000	900,000	0	
退職給付引当預金支出	(900,000)	(900,000)	(0)	
研究開発班設置基金繰入支出	(0)	(0)	(0)	
投資活動支出計 (E)	900,000	900,000	0	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	14,100,000	5,100,000	9,000,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (I)=(G)-(H)	0	0	0	
IV 予備費支出				
	500,000	-	500,000	
当期収支差額 (J)=(G)+(F)+(I)	0	11,348,692	△ 11,348,692	
前期繰越収支差額 (K)	0	57,786,248	△ 57,786,248	
次期繰越収支差額 (J)+(K)	0	69,134,940	△ 69,134,940	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金及び預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	47,197,741	65,370,984
前 払 金	5,004,000	4,372,000
仮 払 金	11,390,000	5,000,000
未収入金	410,000	406,894
合 計	64,001,741	75,149,878
前 受 金	1,199,000	848,500
仮 受 金	2,087,730	2,088,500
未 払 金	2,645,640	2,974,841
預 り 金	283,123	103,097
合 計	6,215,493	6,014,938
次期繰越収支差額	57,786,248	69,134,940

貸借対照表

平成22年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	45,477,655	33,182,637	12,295,018
郵便振替	19,893,329	14,015,104	5,878,225
前払金	4,372,000	5,004,000	△ 632,000
仮払金	5,000,000	11,390,000	△ 6,390,000
未収入金	406,894	410,000	△ 3,106
流動資産合計	75,149,878	64,001,741	11,148,137
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本口定期預金	36,000,000	36,000,000	0
基本財産合計	36,000,000	36,000,000	0
(2) 特定資産			
定期預金	228,422,641	233,522,641	△ 5,100,000
特定資産合計	228,422,641	233,522,641	△ 5,100,000
(3) その他固定資産			
建物付属設備	3,690,600	3,690,600	0
什器備品	6,236,300	6,236,300	0
減価償却累計額	△ 3,994,565	△ 2,860,067	△ 1,134,498
敷金	15,176,700	15,176,700	0
その他固定資産合計	21,109,035	22,243,533	△ 1,134,498
固定資産合計	285,531,676	291,766,174	△ 6,234,498
資産合計	360,681,554	355,767,915	4,913,639
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,974,841	2,645,640	329,201
前受金	848,500	1,199,000	△ 350,500
預り金	103,097	283,123	△ 180,026
仮受金	2,088,500	2,087,730	770
流動負債合計	6,014,938	6,215,493	△ 200,555
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,733,320	35,925,330	3,807,990
固定負債合計	39,733,320	35,925,330	3,807,990
負債合計	45,748,258	42,140,823	3,607,435
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(36,000,000)	(36,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(215,036,631)	(221,036,631)	(△ 6,000,000)
正味財産合計	314,933,296	313,627,092	1,306,204
負債及び正味財産合計	360,681,554	355,767,915	4,913,639

正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	359,999	359,999	0
会費収入	148,674,250	145,487,000	3,187,250
正会員会費	(102,168,250)	(100,344,000)	(1,824,250)
準会員会費	(43,892,000)	(42,456,000)	(1,436,000)
学生会員会費	(14,000)	(7,000)	(7,000)
賛助会員会費	(2,600,000)	(2,680,000)	(△ 80,000)
入会金収入	1,179,500	1,164,500	15,000
広告収入	2,040,000	2,570,000	△ 530,000
学術集会収入	89,639,857	88,077,102	1,562,755
参加費収入	(42,517,000)	(32,894,000)	(9,623,000)
学術機器展示収入ほか	(47,122,857)	(55,183,102)	(△ 8,060,245)
地方会関係収入	37,323,626	35,908,720	1,414,906
学会誌別刷収入	218,000	543,000	△ 325,000
WFUMB会誌収入	1,120,000	1,160,000	△ 40,000
専門医制度関係収入	5,179,000	6,906,000	△ 1,767,000
認定試験	(2,580,000)	(2,540,000)	(40,000)
更新認定料	(1,612,000)	(3,175,000)	(△ 1,563,000)
資料頒布料	(987,000)	(1,191,000)	(△ 204,000)
工学フェロー制度関係収入	208,000	7,000	201,000
認定審査	(34,500)	(1,500)	(33,000)
更新認定料	(173,500)	(5,500)	(168,000)
検査士制度関係収入	55,266,000	51,637,500	3,628,500
認定試験	(48,270,000)	(45,125,000)	(3,145,000)
更新認定料	(6,702,000)	(6,265,500)	(436,500)
資料頒布料	(294,000)	(247,000)	(47,000)
教育関係収入	9,662,000	5,722,000	3,940,000
教育セッション	(2,208,000)	(2,186,000)	(22,000)
講習会収入	(7,440,000)	(3,525,000)	(3,915,000)
資料頒布料	(14,000)	(11,000)	(3,000)
雑収入	3,153,388	1,270,344	1,883,044
寄付金収入	0	0	0
受取利息	825,426	1,164,063	△ 338,637
退職給与引当金取り崩し額	0	788,160	△ 788,160
経常収益計 (A)	354,849,046	342,765,388	12,083,658
(2) 経常費用			
事業費			
学会誌経費	52,077,294	56,471,535	△ 4,394,241
出版費	(37,243,618)	(40,646,025)	(△ 3,402,407)
発送経費	(11,368,702)	(11,072,551)	(296,151)
編集委員会費	(2,247,220)	(3,327,604)	(△ 1,080,384)
英文校正費	(992,514)	(1,325,355)	(△ 332,841)
査読通信費	(225,240)	(100,000)	(125,240)
国際交流関係費	6,542,749	6,865,383	△ 322,634
奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
委員会費	(606,220)	(638,579)	(△ 32,359)
AFSUMB分担金	(2,336,529)	(2,626,804)	(△ 290,275)
WFUMB機関誌代	1,571,226	1,886,828	△ 315,602
学術集会関係費	86,943,989	84,168,057	2,775,932
学術集会経費	(86,943,989)	(84,168,057)	(2,775,932)
学術集会同議費	(0)	(0)	(0)
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
地方会関係費	52,699,792	51,733,063	966,729
地方会学術集会経費	(34,231,940)	(33,326,868)	(905,072)
地方会交付金	(17,543,691)	(17,390,266)	(153,425)
運営委員長会議費	(924,161)	(1,015,929)	(△ 91,768)
各種委員会費	4,669,621	5,881,274	△ 1,211,653
用語・診断基準委員会費	(1,367,471)	(3,150,109)	(△ 1,782,638)
企画委員会費	(554,747)	(290,900)	(263,847)
保険委員会費	(397,540)	(212,880)	(184,660)
機器および安全に関する委員会費	(1,124,535)	(1,164,491)	(△ 39,956)
倫理委員会費	(35,171)	(0)	(35,171)
規約関係	(0)	(0)	(0)

広報委員会費	(834,087)	(827,925)	(6,162)
学術集会委員会費	(34,170)	(34,340)	(△ 170)
検査業務安全ワーキンググループ	(0)	(200,629)	(△ 200,629)
レボピスト販売停止への対応に関するWG	(321,900)	(0)	(321,900)
専門医制度委員会費	4,532,811	6,250,588	△ 1,717,777
専門医認定関係費	(2,783,771)	(3,072,961)	(△ 289,190)
専門医制度委員会費	(1,749,040)	(3,177,627)	(△ 1,428,587)
頒布資料印刷費	(0)	(0)	(0)
工学フェロー制度委員会費	279,716	1,375,030	△ 1,095,314
工学フェロー認定費	(22,690)	(5,910)	(16,780)
工学フェロー制度委員会費	(257,026)	(1,369,120)	(△ 1,112,094)
検査士制度委員会費	14,312,013	17,166,516	△ 2,854,503
検査士認定関係費	(12,884,860)	(14,372,807)	(△ 1,487,947)
検査士制度委員会費	(1,289,603)	(146,160)	(1,143,443)
頒布資料印刷費	(137,550)	(2,647,549)	(△ 2,509,999)
教育委員会費	15,183,605	5,536,527	9,647,078
教育セッション費	(8,918,630)	(1,533,872)	(7,384,758)
講習会経費	(5,704,015)	(3,864,395)	(1,839,620)
教育委員会費	(560,960)	(138,260)	(422,700)
生涯教育費	(0)	(0)	(0)
顕彰委員会関係費	4,076,888	5,988,175	△ 1,911,287
賞金関係	(3,600,000)	(4,900,000)	(△ 1,300,000)
顕彰委員会費	(476,888)	(1,088,175)	(△ 611,287)
研究開発促進委員会費	11,009,951	10,007,207	1,002,744
研究開発班設置費	(9,433,458)	(8,288,163)	(1,145,295)
研究会設置費	(867,205)	(935,851)	(△ 68,646)
研究開発促進委員会費	(709,288)	(783,193)	(△ 73,905)
事業費計	255,899,655	255,330,183	569,472
管理費			
人件費	41,853,027	42,186,127	△ 333,100
会計顧問料	840,000	525,000	315,000
福利厚生費	688,071	668,132	19,939
法定福利費	5,839,557	5,729,260	110,297
職員交通費	2,008,390	2,211,270	△ 202,880
事務所賃借料	22,163,886	24,819,804	△ 2,655,918
事務用機器賃借料	924,840	924,840	0
備品費	0	18,900	△ 18,900
文具消耗品費	296,695	399,176	△ 102,481
光熱水料	1,158,944	1,353,202	△ 194,258
事務OA化費	357,975	613,387	△ 255,412
会議費	3,852,858	4,102,780	△ 249,922
印刷費	1,308,305	1,427,901	△ 119,596
通信費	3,494,640	2,702,947	791,693
公租公課	3,368,600	13,454,298	△ 10,085,698
雑費	850,715	772,891	77,824
払込手数料	1,749,236	1,728,037	21,199
選挙関係費	1,944,960	69,120	1,875,840
退職金	0	788,160	△ 788,160
減価償却費	1,134,498	1,134,498	0
退職給付引当金繰入額	3,807,990	2,369,625	1,438,365
管理費計	97,643,187	107,999,355	△ 10,356,168
経常費用計 (B)	353,542,842	363,329,538	△ 9,786,696
当期経常増減額 (C) = (A) - (B)	1,306,204	△ 20,564,150	21,870,354
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計 (D)	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計 (E)	0	0	0
当期経常外増減額 (F) = (D) - (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (G) = (C) + (E)	1,306,204	△ 20,564,150	21,870,354
一般正味財産期首残高 (H)	313,627,092	334,191,242	△ 20,564,150
一般正味財産期末残高 (G) + (H)	314,933,296	313,627,092	1,306,204
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	314,933,296	313,627,092	1,306,204

財産目録

平成22年3月31日現在

(単位:円)

科 目			金 額		
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			45,477,655		
現金手許有高			(250,535)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(32,237,887)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(425,601)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(1,695,435)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(457,461)		
普通預金	みずほ銀行本郷支店		(5,372,393)		
普通預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店		(4,049,979)		
普通預金	三菱東京UFJ銀行春日町支店		(988,364)		
郵便振替	00130-8-93294		19,893,329		
前払金	第83・84回学術集会補助金		4,000,000		
〃	各種団体会費ほか		372,000		
仮払金	第83回学術集会貸付金ほか		5,000,000		
未収入金	学会誌(和文35-1)広告料ほか		406,894		
流動資産合計				75,149,878	
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本口定期預金	中央三井信託銀行本店		36,000,000		
基本財産合計			36,000,000		
(2) 特定資産					
定期預金			228,422,641		
退職給付引当預金	定期預金	りそな銀行本郷支店	(13,386,010)		
減価償却引当預金	定期預金	りそな銀行本郷支店	(2,500,000)		
国際交流基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	(4,500,000)		
名簿刊行基金預金	定期預金	りそな銀行本郷支店	(10,000,000)		
事務所整備基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行春日町支店	(70,000,000)		
学術奨励基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	(9,000,000)		
〃	定期預金	みずほ銀行本郷支店	(85,500,000)		
松尾賞基金預金	定期貯金	ゆうちょ銀行	(4,500,000)		
研究開発班設置基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	(5,000,000)		
伊東賞基金預金	定期預金	みずほ銀行本郷支店	(24,036,631)		
特定資産合計			228,422,641		
(3) その他固定資産					
建物付属設備			3,690,600		
什器備品			6,236,300		
減価償却累計額			△ 3,994,565		
敷金	(有)福友商事		15,176,700		
その他固定資産合計			21,109,035		
固定資産合計				285,531,676	
資産合計					360,681,554
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	学会誌発送経費ほか		345,841		
〃	平成21年度消費税・法人税		2,629,000		
前受金	平成22年度以降会費		828,500		
〃	専門医および検査士更新認定料		20,000		
預り金	平成21年度分雇用保険料ほか		103,097		
仮受金	入会未承認新入会員入金分ほか		2,088,500		
流動負債合計				6,014,938	
2. 固定負債					
退職給付引当金			39,733,320		
固定負債合計				39,733,320	
負債合計					45,748,258
正味財産					314,933,296

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
個別法に基づく原価基準である。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
建物付属設備及び什器備品・・・定額法によっている。
- (3) 引当金の計算基準
退職給付引当金・・・期末退職給与要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000
小計	36,000,000	0	0	36,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	12,486,010	900,000	0	13,386,010
減価償却引当預金	2,500,000	0	0	2,500,000
国際交流基金預金	4,500,000	0	0	4,500,000
名簿刊行基金預金	10,000,000	0	0	10,000,000
事務所整備基金預金	70,000,000	0	0	70,000,000
学術奨励基金預金	94,500,000	0	0	94,500,000
松尾賞基金預金	4,500,000	0	0	4,500,000
研究開発班設置基金預金	10,000,000	0	5,000,000	5,000,000
伊東賞基金預金	25,036,631	0	1,000,000	24,036,631
小計	233,522,641	900,000	6,000,000	228,422,641
合計	269,522,641	900,000	6,000,000	264,422,641

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	13,386,010	0	0	13,386,010
減価償却引当預金	2,500,000	0	2,500,000	0
国際交流基金預金	4,500,000	0	4,500,000	0
名簿刊行基金預金	10,000,000	0	10,000,000	0
事務所整備費基金預金	70,000,000	0	70,000,000	0
学術奨励基金預金	94,500,000	0	94,500,000	0
松尾賞基金預金	4,500,000	0	4,500,000	0
研究開発班設置基金預金	5,000,000	0	5,000,000	0
伊東賞基金預金	24,036,631	0	24,036,631	0
小計	228,422,641	0	215,036,631	13,386,010
合計	264,422,641	0	251,036,631	13,386,010

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

5. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

保証債務はない。

平成 2 1 年度収支決算監査報告

平成 2 1 年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な
経理が行われたことを認めます。

平成 2 2 年 4 月 2 1 日

社団法人日本超音波医学会

監 事

羽田 勝行 

監 事

千原 剛元 

独立監査人の監査報告書

平成 22 年 4 月 21 日

社団法人日本超音波医学会

理事長 岡 井 崇 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目利昭



私は、社団法人日本超音波医学会の平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの平成 21 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）についての監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人日本超音波医学会の平成 21 年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、社団法人日本超音波医学会の平成 21 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(資料4)

平成22年度事業計画(案)

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

平成22年度における本会の事業計画は次のとおりである。

I. 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」第37巻Supplement号(学会集抄録集)、第37巻3号から6号と第38巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol. 37 No. 2からNo. 4とVol. 38 No. 1の4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

II. 学会集

学会集を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第83回学会集(会長 工藤正俊)

平成22年5月29日～31日 於：国立京都国際会館(京都府)

以降の予定

第84回学会集(会長 竹中克)

平成23年5月27日～29日 於：グランドプリンスホテル新高輪(東京都)

第85回学会集(会長 森安史典)

平成24年5月25日～27日 於：グランドプリンスホテル新高輪(東京都)

III. 地方会学会集

下記の地方会の開催を予定している。

a. 北海道地方会学会集

第39回 会長 高後裕

平成22年11月6日 於：旭川医科大学(旭川市)

第40回 会長 村上弘則

平成23年2月5日 於：札幌医科大学(札幌市)

b. 東北地方会学会集

第40回 会長 千田信之

平成22年9月26日 於：仙台市情報・産業プラザ(仙台市)

第41回 会長 金井浩

平成23年3月13日 於：仙台市情報・産業プラザ(仙台市)

c. 関東甲信越地方会学会集

第22回 会長 住野泰清

平成22年10月30日～31日 於：東京ファッションタウン(TFTホール)(東京都)

d. 中部地方会学会集

第30回 会長 廣岡芳樹

平成22年9月12日 於：愛知産業労働センター(名古屋市)

e. 関西地方会学会集

第37回 会長 川合宏哉

平成22年10月23日 於：神戸国際会議場(神戸市)

f. 中国地方会学会集

第46回 会長 坂井田功

平成22年9月11日 於：下関海峡メッセ(下関市)

g. 四国地方会学会集

第20回 会長 森一博

平成22年10月2日 於：ふれあい健康館(徳島市)

h. 九州地方会学会集

第20回 会長 増崎英明

平成22年10月3日 於：長崎ブリックホール(長崎市)

IV. 教育セッション

第9回

平成22年5月29日～30日 於：国立京都国際会館(京都府)

V. 各種委員会等

1. 企画委員会

a. 本学会正会員増について検討を行う。

b. 本会と関連省官庁との連携を強める。

c. 「第3回超音波医学フォーラム」を開催する。

d. その他、理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

2. 機器及び安全に関する委員会

a. 「超音波の安全性」についての調査、啓発活動を行う。

b. 超音波診断機器の画像劣化要因に関する調査、啓発活動、及び検討を行う。

c. 「超音波機器に関するレギュラトリーサイエンス小委員会」において超音波の生体への影響について、調査、検討を行う。

d. 「超音波診断装置の精度管理手法検討小委員会」において引き続き検討を行う。

e. 超音波診断機器の安全規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員2名を派遣する。

3. 編集委員会

a. 和文誌「超音波医学」第37巻Supplement号(学会集抄録集)、第37巻3号から6号と第38巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol. 37 No. 2からNo. 4とVol. 38 No. 1の4冊、計11冊を発行する。

b. 過去の学会誌(Vol. 1 No. 1(1974)～Vol. 10 No. 6(1983))と抄録号(第1回～第7回、及び第26回)のデジタルデータ化を進める。

4. 用語・診断基準委員会

- a. 医用超音波用語関係
 - 1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ホームページに反映する。
- b. 診断基準関係
 - 1) 「肝腫瘍の超音波診断基準」改訂案の公示をする。
 - 2) 「腎臓・前立腺癌の超音波診断基準」の作成について検討する。
 - 3) 「CRT適応選択のための心エコー諸指標の解説」(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 4) 「肺癌診断基準」改訂(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 5) 「消化管診断基準」(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 6) 「双胎妊娠胎児の標準値」(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 7) 「胎児静脈系血流の標準値」(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 8) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍非形成性病変」(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 9) 「結節性甲状腺疾患診断基準」(案)を公示する。
 - 10) 「眼科領域の超音波画像表示と計測のための検査指針」改訂(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 11) 「肩関節断裂診断基準」(案)の公示に向けて検討を行う。
 - 12) 「胆嚢腫瘍診断基準」(案)の公示に向けて検討を行う。
5. 保険委員会
 - a. 引き続き、外保連に出席し、他学会や関連学会との情報交換を行う。
 - b. 平成24年度診療報酬改訂に向けての準備を行う。
 - c. 今後の内保連、外保連への要望書提出時に参考資料として、例年通り各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の現状についてアンケート調査を行う。
6. 国際交流委員会
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
 - 1) 「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 - 2) 2010年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する。
 - 3) 2011年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 4) 今後の国際貢献のあり方について検討する。
 - b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 2011年にウィーン(2011年8月26日～8月29日)にて開催される第13回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌、及び本学会ホームページに於いてJSUM Fellowshipの募集広告を行う。
 - 3) WFUMBとAFSUMBのEducation Programに協力する。
7. 教育委員会
 - a. 第83回学術集會会期中の平成22年5月29日(土)から30日(日)に国立京都国際会館(京都府)を会場として、第9回教育セッションを開催する。
 - b. 第84回学術集會会期中に東京都にて開催予定の「第10回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。
 - c. 「循環器」、「消化器」、及び「乳腺」についての「超音波診断講習会」を平成22年度中に開催する。
 - d. 平成23年度に開催予定の「超音波診断講習会」を企画し、開催に向けての準備を行う。
 - e. 超音波医学の適性かつ広汎な普及を目的とし、より多くの会員に学習する機会を提供するため、平成22年度に実施される教育セッション、及び超音波診断講習会を収録したDVDを販売する予定である。
8. 超音波専門医制度委員会
 - a. 平成22年度研修施設の指定を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - b. 第20回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - c. 第16回超音波専門医資格更新を実施し、更新者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - d. 平成22年度超音波指導医の新規自薦申請者の公募を行い、新規及び再委嘱候補者の審査を行い、委嘱を行った上で委嘱状を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - e. 第21回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
 - f. 第17回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
 - g. 平成23年度研修施設の指定に向けての審査を行う。
 - h. 超音波専門医制度の改革審議結果を受けて、ホームページの充実化を図る。
 - i. 超音波関連学会・研究会に関して、超音波検査士制度委員会との整合性についての審議を行う。
 - j. 超音波専門医研修施設の認定基準の見直しについての審議を行う。
 - k. 本制度の改革・整備に向けての審議を行う。
 - l. 本制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
 - m. 本制度に関する他学会との連携を深める。
 - n. 社団法人日本専門医制評価・認定機構総会に出席する。同機関の事業に主体的に関わって、専門医制度の資質向上に質する。
 - o. 専門医問題集第5版を出版する。
9. 顕彰委員会
 - a. 第12回特別学会賞の選考を行う。
 - b. 第9回松尾賞の選考を行う。
 - c. 第10回技術賞の選考を行う。
 - d. 第24回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
 - e. 第5回伊東賞(論文賞)の選考を行う。
 - f. 第11回奨励賞の選考を行う。
10. 超音波検査士制度委員会
 - a. 第26回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 2011年超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 - d. 超音波検査士制度を充実させる。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第12回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
 - b. 第13回超音波工学フェローの公募を行う。
 - c. 第7回超音波工学フェロー資格更新の公募を行う。
 - d. WEB資格更新システムの改善を図る。
12. 研究開発促進委員会
 - a. 平成22年度研究開発班の設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。

- b. 平成22年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
 - c. 平成23年度研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - d. 平成23年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - e. 第83回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
 - f. 第83回学術集會会期中に「研究成果発表会」を実施する。
13. 倫理委員会
超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について審議、及び検討を行う。
14. 学術集會委員会
a. 学術集會の事後評価を行い、一般会員の視点からより良いあり方を検討する。
b. 第86回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。
15. 広報委員会
a. 本会ホームページ中に、Web入会・退会・休会システムを構築する。
b. 賛助会員のバナーを設置する。
16. 地方会委員会
a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
3) 地方会学術集會に関して助言を行う。
4) 地方会講習会に関して助言を行う。
b. 地方会委員会会議及び運営委員長会議の開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
c. 地方会を通じての正会員数増加の推進を行う。
d. 各地方会学術集會演題受付webシステムを利用し、抄録のweb掲載を行う。
17. 新公益法人への移行検討委員会
平成21年度に日本産科婦人科学会が「新公益法人」の申請の行ったので、この結果を見極め本会も積極的に活動するかどうか検討する予定である。
18. 会員資格審査関係
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。
1) 入会希望者及び退会希望者の審査
2) 除名該当者の審査
3) 会員種別変更希望者の審査
4) 休会希望者の審査
19. 規約関係
理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。
- VI. 日本医学会関係
1. 第78回日本医学会定例評議員会に参加する。
2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

収支予算書(案)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	360,000	360,000	0	
会費収入	149,355,500	148,662,500	693,000	
正会員会費	(103,246,000)	(103,285,000)	(△ 39,000)	@13,000円×7,942人
準会員会費	(43,659,000)	(42,694,000)	(965,000)	@10,000×1,127・@7,000×4,627
学生会員会費	(10,500)	(3,500)	(7,000)	@3,500円×3人
賛助会員会費	(2,440,000)	(2,680,000)	(△ 240,000)	@40,000円×61口(18社)
入会金収入	1,105,000	1,123,000	△ 18,000	
広告収入	2,390,000	2,320,000	70,000	
学術集会収入	103,501,000	75,000,000	28,501,000	
参加費収入	(37,330,000)	(29,070,000)	(8,260,000)	
学術機器展示収入ほか	(66,171,000)	(45,930,000)	(20,241,000)	
地方会関係収入	43,387,000	47,210,000	△ 3,823,000	
学会誌別刷収入	240,000	330,000	△ 90,000	和文誌6回
WFUMB会誌収入	1,200,000	1,800,000	△ 600,000	@10,000円×120人
専門医制度関係収入	8,770,000	5,104,000	3,666,000	
認定試験	(2,280,000)	(2,280,000)	(0)	@20,000×60・@20,000×54
更新認定料	(5,290,000)	(1,609,000)	(3,681,000)	
資料頒布料	(1,200,000)	(1,215,000)	(△ 15,000)	専門医問題集・研修手帳
工学フェロー制度関係収入	46,500	371,000	△ 324,500	
認定審査	(30,000)	(25,000)	(5,000)	
更新認定料	(16,500)	(346,000)	(△ 329,500)	
検査士制度関係収入	56,200,000	53,030,000	3,170,000	
認定試験	(48,000,000)	(46,000,000)	(2,000,000)	@20,000×2,000・@5,000×1,600
更新認定料	(7,950,000)	(6,830,000)	(1,120,000)	@5,000円×1,590人
資料頒布料	(250,000)	(200,000)	(50,000)	研修ガイドライン
教育関係収入	11,160,000	11,210,000	△ 50,000	
教育セッション	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	@2,000円×1,000人
講習会収入	(7,000,000)	(9,200,000)	(△ 2,200,000)	3回開催(乳腺・消化器・循環器)
資料頒布料	(2,160,000)	(10,000)	(2,150,000)	セッション・講習会DVD、研修カリキュラム
雑収入	1,250,000	2,000,000	△ 750,000	
受取利息	350,000	700,000	△ 350,000	
事業活動収入計	379,315,000	349,220,500	30,094,500	
2. 事業活動支出				
事業費				
学会誌経費	52,663,000	53,830,000	△ 1,167,000	
出版費	(37,400,000)	(37,500,000)	(△ 100,000)	
発送経費	(11,634,000)	(10,900,000)	(734,000)	
編集委員会費	(2,125,000)	(3,330,000)	(△ 1,205,000)	
英文校正費	(1,254,000)	(1,800,000)	(△ 546,000)	
査読通信費	(250,000)	(300,000)	(△ 50,000)	
国際交流関係費	6,617,000	6,464,500	152,500	
奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)	@1,200,000円×3人
委員会費	(622,000)	(600,000)	(22,000)	
AFSUMB分担金	(2,395,000)	(2,264,500)	(130,500)	
WFUMB機関誌代	2,124,000	1,950,000	174,000	@\$150.00×120冊
学術集会関係費	104,246,000	75,000,000	29,246,000	
学術集会経費	(103,501,000)	(75,000,000)	(28,501,000)	
本部経費	(745,000)	(0)	(745,000)	
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
地方会関係費	62,786,000	65,859,000	△ 3,073,000	
地方会学術集会経費	(43,387,000)	(47,210,000)	(△ 3,823,000)	
地方会交付金	(17,509,000)	(17,449,000)	(60,000)	
会議費	(1,890,000)	(1,200,000)	(690,000)	
各種委員会費	10,131,000	9,230,000	901,000	
用語・診断基準委員会費	(3,540,000)	(3,600,000)	(△ 60,000)	
企画委員会費	(1,145,000)	(1,100,000)	(45,000)	
保険委員会	(469,000)	(450,000)	(19,000)	
機器及び安全に関する委員会	(2,010,000)	(2,000,000)	(10,000)	
倫理委員会	(105,000)	(40,000)	(65,000)	
規約関係	(40,000)	(40,000)	(0)	
広報委員会費	(1,737,000)	(600,000)	(1,137,000)	
学術集会委員会費	(1,085,000)	(1,400,000)	(△ 315,000)	
専門医制度委員会費	9,912,000	6,150,000	3,762,000	
専門医認定関係費	(3,416,000)	(4,050,000)	(△ 634,000)	
専門医制度委員会費	(2,996,000)	(2,100,000)	(896,000)	
頒布資料印刷費	(3,500,000)	(0)	(3,500,000)	専門医問題集(第5版)作成
工学フェロー制度委員会費	422,000	522,000	△ 100,000	
工学フェロー認定費	(7,000)	(2,000)	(5,000)	
工学フェロー制度委員会費	(415,000)	(520,000)	(△ 105,000)	
検査士制度委員会費	16,643,000	17,056,000	△ 413,000	
検査士認定関係費	(14,428,000)	(16,100,000)	(△ 1,672,000)	
検査士制度委員会費	(2,077,000)	(831,000)	(1,246,000)	
頒布資料印刷費	(138,000)	(125,000)	(13,000)	
教育委員会費	15,555,000	10,180,000	5,375,000	
教育セッション費	(5,452,000)	(2,850,000)	(2,602,000)	
講習会経費	(6,825,000)	(6,650,000)	(175,000)	
教育委員会費	(694,000)	(680,000)	(14,000)	
頒布資料印刷費	(2,584,000)	(0)	(2,584,000)	セッション・講習会DVD作成
顕彰委員会関係費	7,800,000	6,770,000	1,030,000	
賞金	(6,900,000)	(6,500,000)	(400,000)	
顕彰委員会費	(900,000)	(270,000)	(630,000)	
研究開発促進委員会費	12,377,000	14,100,000	△ 1,723,000	
研究開発班設置費	(10,000,000)	(12,000,000)	(△ 2,000,000)	
研究会設置費	(1,600,000)	(1,600,000)	(0)	
研究開発促進委員会費	(777,000)	(500,000)	(277,000)	
事業費計	303,276,000	269,111,500	34,164,500	
管理費				
人件費	42,700,000	43,552,000	△ 852,000	
会計顧問料	840,000	840,000	0	
福利厚生費	700,000	700,000	0	
法定福利費	5,600,000	4,800,000	800,000	
職員交通費	2,000,000	1,600,000	400,000	
事務所賃借料	21,248,000	24,789,000	△ 3,541,000	
事務用機器賃借料	900,000	710,000	190,000	
備品費	400,000	400,000	0	
文具消耗品費	700,000	740,000	△ 40,000	
光熱水料	1,300,000	1,300,000	0	
事務OA化費	1,024,000	300,000	724,000	
会議費	3,580,000	3,581,000	△ 1,000	
印刷費	1,500,000	1,000,000	500,000	
通信費	3,000,000	3,400,000	△ 400,000	
公租公課	1,600,000	1,500,000	100,000	
雑費	797,000	797,000	0	
払込手数料	1,700,000	1,700,000	0	
選挙関係費	50,000	2,000,000	△ 1,950,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
退職金	0	0	0	
管理費計	89,639,000	93,709,000	△ 4,070,000	
事業活動支出計	392,915,000	362,820,500	30,094,500	
事業活動収支差額	△ 13,600,000	△ 13,600,000	0	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	55,000,000	15,000,000	0	
学術奨励基金取崩収入	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)	
松尾賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
研究会発班設置基金取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
伊東賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
事務所整備基金取崩収入	(40,000,000)	(0)	(40,000,000)	
投資活動収入計	55,000,000	15,000,000	40,000,000	
2. 投資活動支出				
特定預金繰入支出	40,900,000	900,000	0	
退職給付引当預金支出	(900,000)	(900,000)	(0)	
研究開発班設置基金繰入支出	(40,000,000)	(0)	(40,000,000)	
投資活動支出計	40,900,000	900,000	40,000,000	
投資活動収支差額	14,100,000	14,100,000	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出				
	500,000	500,000	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(資料 6)

社団法人日本超音波医学会 平成22・23年度役員及び代議員

(自 平成22年5月31日 至 平成24年度通常総会開催日)

理事長	千田 彰一						
副理事長	工藤 正俊	竹中 克					
理事	秋山 いわき	遠藤 信行	岡井 崇	尾辻 豊	金井 浩	貴岡 正史	上妻 志郎
	椎名 毅	竹内 和男	田中 幸子	谷口 信行	中谷 敏	峰屋 弘之	増山 理
	松崎 益徳	森安 史典	山下 裕一				
監事	千原 國宏	万代 恭嗣					
代議員	赤阪 隆史	赤松 信雄	秋本 伸	飯島 尋子	石川 英樹	石田 秀明	石塚 尚子
	石光 敏行	伊集院 裕康	市塚 清健	市橋 光	伊藤 彰浩	伊藤 貴司	伊藤 隆英
	位藤 俊一	伊藤 浩	伊藤 嘉信	乾 和郎	井上 浩	伊吹 恵里	岩瀬 正嗣
	植木 敏晴	植野 映	上松 正朗	内田 政史	宇都宮 俊徳	梅村 晋一郎	浦岡 佳子
	遠藤 登喜子	大木 崇	大崎 往夫	大手 信之	大柳 光正	岡 博子	小笠原 正文
	小笠原 康夫	岡田 一孝	尾形 仁子	岡庭 信司	小川 眞広	小澤 優樹	小野 尚文
	小野塚 久夫	尾基 きよか	金光 敬一郎	亀岡 信悟	茅野 博行	唐澤 英偉	川合 宏哉
	川内 章裕	川崎 靖子	木佐 貫彰	木田 光広	木原 康樹	楠 信也	工藤 信樹
	久保 光彦	熊田 卓	黒 肱 敏彦	黒松 亮子	神崎 修一	國分 茂博	小林 さゆき
	近藤 隆	紺野 啓	西條 芳文	斎藤 明子	酒井 輝文	櫻井 健一	佐々木 勝己
	椎名 秀一朗	篠村 隆一	地挽 隆夫	島本 佳寿広	下村 壯治	庄野 弘幸	白木 克哉
	鈴木 真事	住野 泰清	諏訪 道博	瀬本 喜啓	高沢 謙二	高田 悦雄	高野 真澄
	高橋 正一郎	高本 眞一	宝田 明	竹内 眞一	竹田 欽一	立花 克郎	田中 直彦
	田中 伸明	田中正 俊	田内 潤	千葉 裕	千葉 喜英	辻本 文雄	津田 雅之
	鄭 忠和	鄭 浩柄	東野 英利子	戸原 恵二	中尾 伸二	長川 達哉	中島 美智子
	仲田 文造	長沼 裕子	長嶺 伸彦	中村 武史	名取 道也	仁木 清美	西垣 洋一
	西川 かおり	西村 敏博	二宮 朋之	沼田 功	橋本 千樹	秦 幸吉	畠 二郎
	秦 利之	馬場 一憲	濱口 浩敏	濱滝 壽伸	原田 烈光	東泉 隆夫	平井 都始子
	平田 健一郎	平間 信	廣井 喜一	廣岡 芳樹	福田 信夫	藤井 康友	藤田 直孝
	藤本 眞一	藤本 武利	藤本 正夫	古田 眞智	本田 伸行	前田 英明	幕内 雅敏
	真口 宏介	舛形 尚	松尾 汎	松田 康雄	松村 誠毅	松元 淳一	松本 廣嗣
	真野 敏昭	丸山 紀史	三神 大世	水重 克文	三竹 毅	皆越 眞一	嶺 喜隆
	三原 修一	宮本 幸夫	三和 祐一	村田 和也	望月 剛	森 秀明	八木 晋一
	安田 秀光	安田 是和	柳原 敏宏	山雄 健次	山口 匡	山越 芳樹	山崎 延夫
	山田 聡	山田 博康	山近 史郎	山根 隆明	山本 一博	山本 敏樹	湯田 聡
	吉岡 二三	吉田 清	林 英宰	渡辺 五朗			

(資料7)

除 名 者
(平成22年3月31日現在該当者)

243名

内訳 正 会 員 171名

準 会 員 72名

学生会員 0名

賛助会員 0社

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. タナハシヨシカヅ
棚橋善克 氏
2. ヘッファ シンタロウ
別府慎太郎氏
3. アトミ ユカ
跡見 裕 氏

功 労 会 員 推 薦

本学会功勞会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. タナウチ ヤスヒト
竹内康人 氏
2. ハタ ヨシユキ
羽田勝征 氏
3. クベ タ ミツヒロ
久保田光博氏
4. ホリグチ ユウラ
堀口祐爾 氏
5. イシカワ ヒロコ
石川洋子 氏

第12回特別学会賞

中山 淑
(エレクトロデザイン株式会社)

松崎 益徳
(山口大学大学院)

第9回松尾賞

近藤 隆
(富山大学)

尾辻 豊
(産業医科大学)

第10回技術賞

Broadband Harmonics

曹 景文, 大西 隆之, 網野 和宏, 小菅 正之, 田中 一史, 宮本 一夫
(アロカ株式会社メディカルシステム技術部)

3D Wall Motion Tracking (3D WMTと称する, 3次元心筋スペクトルトラッキング技術)

阿部 康彦¹, 大西 啓之¹, 川岸 哲也¹, 武口 智行², 西浦 正英², 穂山 充男³, 米山 直樹³
(¹東芝メディカルシステムズ株式会社超音波開発部, ²株式会社東芝研究開発センター, ³東芝医用システムエンジニアリング株式会社ソフトウェア技術部)

Elastography Texture 解析 (びまん性疾患診断支援) システム

外村 明子¹, 三竹 毅¹, 元木 満¹, 村山 直之¹, 脇 康治¹, 飯村 隆志¹, 椎名 毅²
(¹株式会社日立メディコUSシステム本部, ²京都大学大学院)

論文賞

第24回菊池賞

Low-intensity ultrasound adjuvant therapy: enhancement of doxorubicin-induced cytotoxicity and the acoustic mechanisms involvedE36-2

Takashi KONDO¹, Toru YOSHIDA², Ryohei OGAWA¹, Mariame A. HASSAN¹, Yukihiro FURUSAWA¹, Qing-Li ZHAO¹, Akihiko WATANABE³, Akihiro MORII³, Loreto B. FERIL Jr.⁴, Katsuro TACHIBANA⁴, Hiroshi KITAGAWA⁵, Yoshiaki TABUCHI⁶, Ichiro TAKASAKI⁶, Mohammad H. SHEHATA¹, Nobuki KUDO³, Kazuhiro TSUKADA²
(¹Department of Radiological Sciences, ²Second Department of Surgery, ³Department of Urology, ⁴Department of Biochemistry, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama, Toyama, Japan, ⁵Department of Anatomy, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan, ⁶Laboratory of Animal Histophysiology, Division of Animal Science, Department of Bioresource Science, Graduate School of Agricultural Science, Kobe University, Hyogo, Japan, ⁷Life Science Research Center, University of Toyama, Toyama, Japan, ⁸Laboratory of Biomedical Instrumentation and Measurements, Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University, Hokkaido, Japan)

High-intensity focused ultrasound induced apoptosis with caspase 3, 8, and 9/6 activation in rat hepatomaE36-4

Naoki HIROKAWA¹, Kazumitsu KOITO¹, Futoshi OKADA², Nobuki KUDO³, Katsuyuki YAMAMOTO³, Katsuhiko FUJIMOTO⁴, Mutsumi NISHIDA⁵, Takeshi ICHIMURA¹, Masakazu HORI¹, Taishi SATOH¹, Masato HAREYAMA¹
(¹Department of Radiology, School of Medicine, Sapporo Medical University, Hokkaido, Japan, ²Department of Biomolecular Function, Graduate School of Medicine, Yamagata University, Yamagata, Japan, ³Laboratory of Biochemical Instrumentation & Measurements Research Associate, Graduate School of Engineering, Hokkaido University, Hokkaido, Japan, ⁴Toshiba Medical Systems Corporation, Tochigi, Japan, ⁵Division of Clinical Laboratory and Transfusion Medicine, Hokkaido University Hospital, Hokkaido, Japan)

第5回伊東賞

Initial experience of transcranial contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid in the evaluation of microvascular brain anatomyE36-3

Kozue SAITO¹, Toshiko HIRAI², Hajime OHISHI², Satoshi UENO¹

(¹Department of Neurology, ²Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University, Nara, Japan)

Relationship between upper limb peripheral artery stiffness using the radial artery and atherosclerotic parametersE36-3

Shuumarjav UURTUYA¹, Kazuhiko KOTANI¹, Nobuyuki TANIGUCHI¹, Hiroaki MATSUNAGA¹, Hiroshi KANAI², Hideyuki

HASEGAWA², Kazuomi KARIO³, Shun ISHIBASHI⁴, Kouichi ITOH⁵

(¹Department of Clinical Laboratory Medicine, ²Department of Cardiology, ³Department of Endocrinology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan, ⁴Graduate School of Engineering, Tohoku University, Miyagi, Japan, ⁵Hitachi-Umiya Saiseikai Hospital, Ibaraki, Japan)

【顕彰委員会】

委員長

松崎益徳

副委員長

椎名 毅

委員

(基礎) 秋山 いわき 遠藤 信行
(体表) 谷口 信行 遠藤 登喜子
(循環器) 竹中 克 千田 彰一
(消化器) 渡辺 五朗 齋藤 明子
(泌尿器) 千葉 裕 棚橋 善克
(産婦人科) 上妻 志郎

秋本 伸

以上14名